

コミュニティ

SOCIAL

地域社会との双方向で継続的な対話活動

▶方針・考え方

●コミュニケーションを通じた地域社会の活性化と当社グループの発展

関西電力グループは、地域や生活に密着した事業者として、事業活動に関わる地域社会の発展なくしては、自らの発展はありえない、という認識のもと、地域経済や地域コミュニティの活性化に努めています。

今後とも、地域社会のみならずと一層密接なコミュニケーションを推進し、お客さまや地域のみならずの多岐にわたるご要望にお応えできるよう、ソリューションをお届けすることで、地域社会の活性化と当社グループの発展に繋げてまいります。

▶体制

●地域対応体制

関西電力(株)：総務室 地域連携グループ

関西電力送配電(株)：地域コミュニケーション部 地域コミュニケーショングループ ほか

▶目標

地域社会との信頼関係の維持・構築

▶取り組み

●地域社会とのコミュニケーション・連携の強化

これまでから、エネルギー情勢や当社グループ事業全般について自治体等と双方向のコミュニケーションを重ねています。具体的には、当社グループ施設の見学会や勉強会等を開催することで当社グループ事業への理解を深めていただくとともに、そこでさまざまなご意見やご要望を頂戴しています。頂戴したご意見やご要望は、経営層をはじめ関係部門や現場第一線とも共有を図り、社内会議における議論等を通じて、より良い事業運営に役立てています。また、エネルギーをはじめとした地域における諸課題の解決に積極的に取り組むことにもつながっています。

近年、台風等自然災害の被害が甚大化していることを受け、災害時の各自治体との連携体制を強化しています。



自治体等との勉強会



自治体等の訓練視察

●関連データ

	2021年度	2022年度	2023年度
自治体へのご理解促進活動	約8,300回	約9,100回	約8,400回



地域の課題解決や価値向上を目指す“コミュニティ事業”の推進

▶方針・考え方

●地域の活性化に向けた取組み

お客さまや社会のみなさまからのエネルギー領域にとどまらない多様なニーズにしっかりと耳を傾け、地域のみなさまの良きパートナーとして、「共に考え、共に未来を創る」という想いをもちながら、地域活性化と持続的発展にむけた取組みを進めています。

▶体 制

関西電力(株)：ソリューション本部

▶目 標

魅力的・持続可能なまちづくりによる当社グループ事業の成長

▶取組み

●当社ソリューションによる地域活性化への貢献

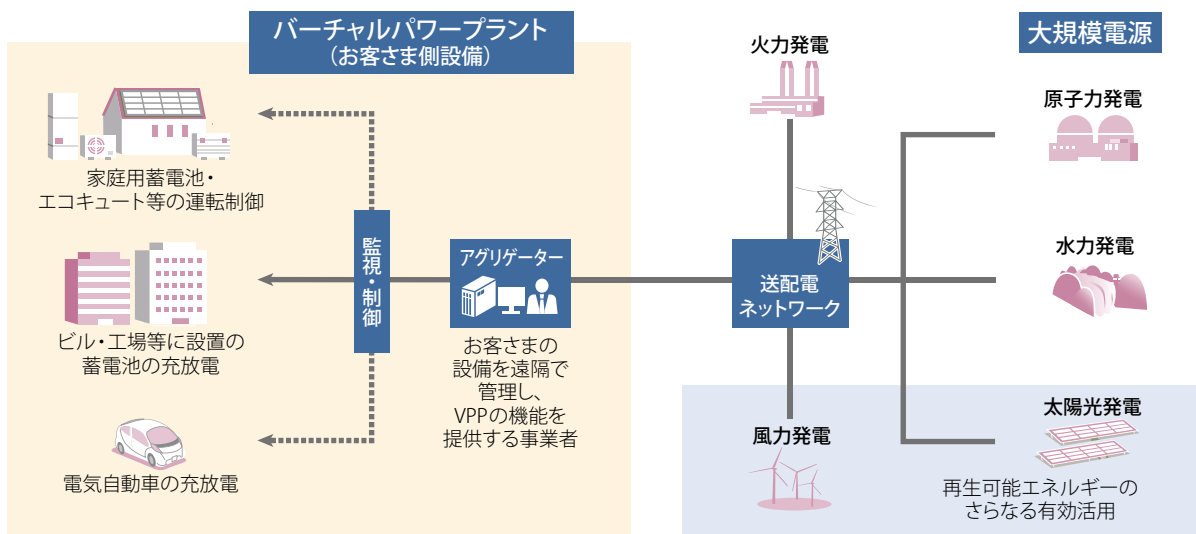
当社グループは、お客さまや地域社会の抱える課題やニーズを踏まえ新たなソリューションの開発に取り組むと共に、当社グループが保有する幅広いソリューションをコーディネートして提供する「コミュニティ事業」を通じて、持続可能で魅力的なまちづくりに取り組んでいます。

当社はこれまで、中之島エリアでの未利用エネルギーを活用した地域冷暖房の導入や、吹田市万博スマートコミュニティでのエリア一括受電、新技術導入に向けたバーチャルパワープラント(VPP)*の実証など、コミュニティにおけるエネルギーの効率利用に取り組んできました。

当社は、今後も自治体など地域のみなさまと一緒に、地域の発展に寄り添う関西電力グループとして「コミュニティ事業」に取り組んでまいります。

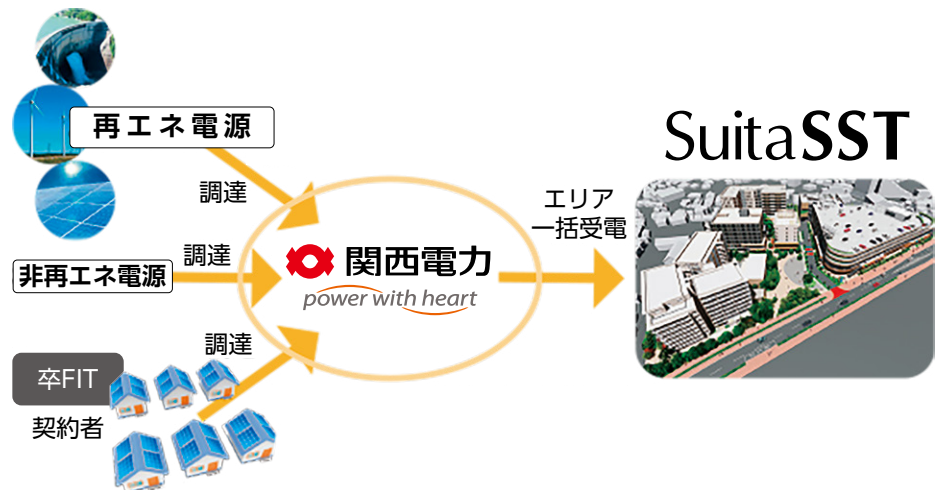
*各所に分散しているリソース(蓄電池、電気自動車等)を、IoTを活用して遠隔で統合制御し、あたかも一つの発電所のように機能させること

◆「バーチャルパワープラント」のイメージ



●日本初の「再エネ100タウン」を実現～ Suita サスティナブル・スマートタウン ～

エリア一括受電と再生可能エネルギー、非化石証書等の活用により、街全体の消費電力を実質再生可能エネルギー100%で賄う日本初の「再エネ100タウン」を実現し、2022年4月にまひらきとなりました。非常時には、太陽光、蓄電池、EV等を活用し、レジリエンスの向上を図っています。



●スマートエコタウン星田でエリアマネジメントサポートサービスとラストワンマイル配送サービスを提供

関電不動産開発が手掛けるスマートエコタウン星田において、コミュニティ形成・運営支援を柱に、他事業者と連携しタウンセキュリティ、カーシェア等のサービスも合わせて提供することにより、エリアの価値向上に向けた地域の主体的な取組みをサポートしています。

また、同エリアおよびその周辺の複数スーパーにおいて、買物支援・地域の利便性向上を目的としたラストワンマイル配送サービス(りんくるさん)を開始。これらのサービス提供により、住民の皆さまや地元企業の満足度向上に取り組んでいます。

●豊岡市における地域マイクログリッド事業他への事業運営サポート

豊岡市の中核工業団地内での、地域のレジリエンス向上や再生可能エネルギーの普及促進などを目的とした地域マイクログリッド[※]の構築にあたり、当社は、災害等による電力供給停止時の地域内の電力自給自足の実現に向けた運用サポートを実施しました。また、100%子会社であるE-Flowは、当該工業団地内に設置する大規模蓄電池の運用業務を受託しました。当社は今後も地域のレジリエンス向上に加え、事業性向上にも貢献して参ります。

[※]地震や台風などの災害により停電が発生した場合に、限られた地域コミュニティの中で、太陽光発電などの再生可能エネルギーで電気をつくり、蓄電池などで電力量をコントロールし、既存の配電線を活用することで、エネルギーの地産地消ができるシステム。

●黒部特定送配電事業

当社は、黒部宇奈月キャニオンルートの一般開放・旅行商品化に合わせて、富山県や大手携帯キャリアと連携し、2023年より携帯電話基地局向け電力供給を開始しました。これにより携帯電話不感地域(サービスエリア外)であった黒部奥山で携帯電話の使用が可能となり、観光客の利便性向上や登山客の安全・安心確保に加え、災害発生時等の連絡確保に貢献することができると考えております。なお、本事業の実施にあたり、当社は2023年に旧一般電気事業者初の「登録特定送配電ライセンス」を取得しています。

●神戸東部新都心地域への脱炭素化した地域冷暖房用熱エネルギーの体制確立と供給 (令和5年度「新エネ大賞」受賞)

当社が出資している神戸熱供給株式会社[※]および株式会社神戸製鋼所、大阪ガス株式会社、当社は、神戸東部新都心地域への脱炭素化した地域冷暖房用熱エネルギーの体制確立と供給に取り組み、令和5年度「新エネ大賞」の地域共生部門において、新エネルギー財団会長賞を受賞しました。

本取り組みでは、電力は非化石証書を活用し、再生可能エネルギー100%としており、ガスはカーボンニュートラルな都市ガスとすることで、顧客の賛同を得て、脱炭素化した熱エネルギーの供給を実現しました。なお、地域冷暖房分野において、熱料金体系に環境価値を織り込んだ料金制度は全国で初めてとなります。

[※]1998年4月から熱供給事業を開始。株式会社神戸製鋼所(51.0%)、大阪ガス株式会社(24.5%)、当社(24.5%)の3社が共同で出資。

●関連データ

	2022年度	2023年度	2024年度
構想が実現したサステナブルコミュニティの累計件数 [※]	15件	17件	17件

[※] 当社のみの数値

[※] 6月末時点実績



地域・コミュニティとの共生

▶方針・考え方

●地域・コミュニティとの共生に向けた活動の実施

当社グループは、「関西電力グループ行動憲章」において、地域や生活に密着した事業者として、様々なステークホルダーと連携しながら、地域経済や地域コミュニティの活性化に向け、地域社会の課題解決に積極的に取り組む旨を記載し、当社グループの事業活動等を通じて社会貢献活動を実施してきました。

今日、人口減少や環境問題をはじめとした社会課題が先鋭化、鮮明化する中、企業市民としての活動も含めた社会貢献活動をこれまで以上に積極的に展開していくため、2024年6月、「関西電力グループ社会貢献活動方針」を制定しました。

当社グループは、保有する経営資源を活用し、事業活動ならびに良き企業市民としての活動を通じて、地域や社会の課題解決や活性化に積極的に取り組みます。また、従業員一人ひとりの社会貢献活動への積極的な参加を支援していきます。

◆関西電力グループ社会貢献活動方針

地域や社会の『力』になりたい

関西電力グループは、「関西電力グループ社会貢献活動方針」を以下のように定め、この基本方針に沿って、事業活動を通じて地域や社会の期待に応えるとともに、良き企業市民として、様々な活動を行っていきます。

- (1) 関西電力グループは、地域や社会の持続的な発展のために、様々なステークホルダーと連携し、地域や社会の課題解決や活性化に積極的に取り組みます。
- (2) 関西電力グループは、地域や社会のみなさまとの対話を大切に、保有する経営資源を活用した取り組みを行います。
- (3) 関西電力グループは、従業員一人ひとりの自発的な活動を尊重し、社会貢献活動への積極的な参加を支援します。

【重点分野】 環境保全、地域活性化、次世代層育成

▶体 制

関西電力(株)：広報室

関西電力送配電(株)：地域コミュニケーション部 ほか

▶目 標

地域・コミュニティとの共生に向けた積極的な貢献

▶取組み

当社グループは、「関西電力グループ社会貢献活動方針」に掲げた重点分野を中心に、地域や社会の課題解決や活性化に取り組んでいます。



●環境保全

当社グループのノウハウを活かした清掃活動や、発電所周辺の生態系保全、地域のみなさまと連携した美化活動などに取り組んでいます。



高所作業車を活用した姫路城周辺の街路灯清掃



環境月間でのゴミ拾い



木曽川でのアマゴ放流



小学校でのグリーンカーテン活動

●地域活性化

地域に根差した伝統文化や芸術、スポーツ支援をはじめ、地域への貢献・活性化の取組みを地域のみなさまとともに進めています。



祇園祭山鉾の配電検査



びわ湖マラソン2024でのボランティア



大阪クラシック2023への協力

◆かんでんコラボ・アート

障がいのある方々にアートの創造を通じて自己を表現する喜びを感じていただき、また作品をご覧いただく方々にその魅力や作者の可能性を感じていただくことを目的に、2001年から「かんでんコラボ・アート」を開催しています。受賞作品などは展示会やホームページを通じて紹介しています。



公開展示会(グランフロント大阪)



2023年度最優秀賞受賞作品

●次世代層育成

エネルギーミックスやゼロカーボンの重要性について様々な方々に共に考えてもらう機会を創出するため、説明会や小・中学生への授業などを実施しています。



キッズニア甲子園(関西電力送配電)



エネルギー教室



地域イベントへの当社ブース出展

●社会貢献活動に励む従業員を支援

従業員の自発的な活動を支援するため、ボランティア休暇制度などを設けています。また、社内ポータルサイトにある「社会貢献サイト」では、ボランティア情報や各事業所での活動事例などを発信しています。また、令和6年能登半島地震の発生に伴い、ボランティア休暇制度の条件を緩和して、被災地でのボランティア活動に対して参加意欲のある従業員を支援しています。更に、被災地復興に向けて日本赤十字社への義援金5,000万円の拠出も行っています。

社内外との積極的なコミュニケーション

▶方針・考え方

●広報・広聴活動を通じた社内外とのコミュニケーション

広報・広聴活動を通して、ステークホルダーのみなさまに適切に情報発信を行い、当社グループ事業にご理解をいただくとともに、頂戴したご意見やご要望について、経営層や従業員と共有を図り、事業活動に反映させるという双方向のコミュニケーションを心がけ、信頼を賜うことができるよう努めています。

また、このような活動を通じて、当社グループ事業への理解獲得を図るとともに、ブランドステートメント「power with heart」に込めた“まごころと熱意を込めたサービスで、お客さまや社会の『力』になりたい”という想いのもと、透明性の高い開かれた事業活動を展開していきます

▶体 制

関西電力(株)：広報室

関西電力送配電(株)：地域コミュニケーション部 ほか



▶目 標

お客さまや社会のみなさま、従業員とのエンゲージメント強化につながる一歩進んだコミュニケーションで円滑な事業活動と中長期的な成長を後押しする。



▶ 取組み

● ステークホルダーへの情報開示の充実

当社グループは株主をはじめとしたステークホルダーのみなさまに向けて、有価証券報告書やコーポレートガバナンス報告書、統合報告書などにて会社の財務状態・経営成績などの財務情報や、経営戦略・経営課題、リスクやガバナンスにかかわる非財務情報などについて、積極的に開示を行っています。その際、会社法などの法令で定められる内容のみならず、株主をはじめとするステークホルダーのみなさまとの対話に有用と考えられる情報については、正確かつ具体的な内容で開示するなど、付加価値の高い説明となるよう努めています。また海外投資家に向けての情報提供として必要に応じて英語版の媒体を作成しています。

当社グループは、株主・投資家との建設的な対話を促進し、法令遵守をはじめとする当社グループの基本姿勢や中期経営計画などをはじめとする経営の基本方針についてのご理解を得るとともに、いただいた建設的な意見を経営に反映することで、ステークホルダーのみなさまからの信頼を回復したうえで、長年に亘り確固たる信頼関係を築いていきます。

● 報道機関への対応

報道機関が報じる情報は、お客さまの当社グループに対するご理解やイメージに大きく影響することから、適時適切な情報発信が必要となります。そのため、社長会見をはじめとした、報道機関への情報発信を積極的に実施するとともに、報道機関からの取材にも迅速かつ確に対応することで、当社グループ事業への理解促進を図っています。また、会見のWeb配信を実施するなど、情報発信方法の多様化にも取り組んでいます。

● メディアを活用した情報発信

ブランドステートメント「power with heart」に込めた想いのもとで取り組む、当社グループの事業活動に関する情報をお客さまや社会のみなさまにわかりやすくお伝えするため、さまざまなメディアを活用しています。

テレビCMやWeb動画広告、新聞広告、そしてホームページやWebマガジン、SNSや広報誌などのツールを用いてより多くのお客さまとのコミュニケーションを活性化させることで、当社グループ事業への理解・信頼獲得を図っています。

◆ テレビCM・Web動画広告・新聞広告による情報発信

映像や音楽で分かりやすく情報をお伝えできるテレビCMやWeb動画広告、比較的多くの情報をじっくりとご覧いただける新聞広告など、それぞれの媒体が持つ特性を生かして、当社グループの取組みを発信しています。



当社テレビCM

◆ ホームページによる情報発信

エネルギーの安全・安定供給やサステナビリティ（ESG）の取組み、IR、採用活動などの企業活動に関する情報を掲載しています。お客さまにとってより見やすく分かりやすいホームページをめざし、トップページのレイアウトを見直すなど、視聴者目線を徹底し、継続的な工夫・改善を図っています。



当社ホームページ

◆ Webマガジン「WITH YOU」による情報発信

関西エリアのトレンドやお役立ち情報など、お客さまや社会のみなさまの「知りたい!」、当社グループの「知ってほしい!」、ちょっとマニアックでホットな情報をお届けしています。



WITH YOU



WITH YOU



◆SNSによる情報発信

当社グループの事業活動に共感していただくことをめざし、ソーシャルメディアを活用しています。Facebook、Xでは、画像や動画を活用しながら働く従業員の姿にフォーカスを当てた投稿を行うとともに、双方向コミュニケーションを実施しています。加えて、Xでは災害時のコミュニケーションツールとして、災害などの発生時に迅速に情報を発信しています。また、InstagramとTikTokでは、くらしに役立つ情報をテーマとし、省エネ術や節約術などのライフハック術をショート動画で発信しています。



当社グループFacebook



当社グループX



当社Instagram

◆Web動画の公開による情報発信

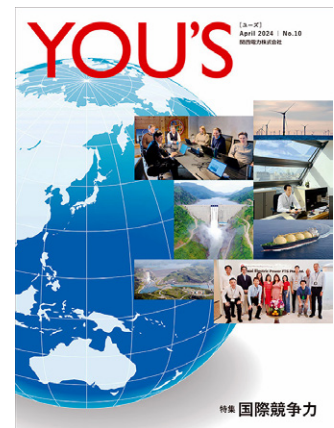
エネルギーミックスやゼロカーボン社会の実現をはじめ、当社グループの事業活動についての理解を深めていただけるよう、テレビCMと連動したWeb動画の公開、人気YouTuberとの動画タイアップを実施しています。



テレビCM連動Web動画

◆広報誌「YOU'S」による情報発信

当社グループの事業活動についての理解を深めていただくことをめざし、広報誌「YOU'S」を発刊しています。お客さまや社会のみなさまの関心事をテーマとして取り上げながら、当社グループとみなさまを繋ぎ、面白くて役立つ情報をお届けしています。また、当社ホームページ内には「YOU'S」専用ページを開設しています。



YOU'S

●ファンベースの取組み

当社グループは、これまで以上にお客さまとのコミュニケーションを大切にし、共感をいただきながら、共に成長していくことで、もっと良い未来を創っていきたくと考え、2021年度に「かんでんファンベースプロジェクト」を始動しました。2023年度には、ファンコミュニティサイト『ファンでん』を立ち上げ、オンライン上でもファンのみなさまと交流を深めるとともに、対面形式での様々なイベントを企画するなど、「ファンベース」の取組みを展開しています。



かんでんファンミーティング



かんでんファンイベント

●エネルギーに関する理解活動

エネルギーミックスやゼロカーボンの重要性について様々な方々に共に考えてもらう機会を創出するため、説明会や小・中学生への授業などを実施しています。実施にあたっては、VRを用いた発電所の疑似見学体験を行うなど、より分かりやすくなるような工夫に取り組んでいます。また、パソコンやスマートフォンなどからリモートで参加でき、発電所内部の見学や所員とのコミュニケーションなどを通して、実際に現地を見学しているような体験ができる「オンライン見学会」も実施しています。



エネルギー教室



オンライン見学会



● インターナルコミュニケーションの活性化

経営理念や中期経営計画の取組みをはじめとした経営上の重要事項や、当社グループの事業に関する情報、各職場や従業員の取組みなどを、社内報「関電新聞」や社内ポータルサイトを通じて、適時社内へ情報発信しています。

また、従業員のエンゲージメント向上を目的に、経営層と従業員、従業員間の双方向コミュニケーションを深める取組みを実施しています。経営層と従業員間のコミュニケーションにおいては、社内ポータルサイトおよびグループポータルサイト上に、経営層からのメッセージを掲載し、従業員が自由にコメントできるようにしています。従業員間のコミュニケーションにおいては、社内ポータルサイト上に、従業員が気軽にニックネームで投稿できる掲示板「みんなdeトーク」を開設し、ワークライフバランスのコツや、業務に活用できる便利なアイデアなど、様々なテーマで自由闊達に意見交流ができるようにしています。



経営層からのメッセージ



関電新聞(2024年1月号)

● 社会のみなさまの声を事業活動に反映

当社グループは、ステークホルダーのみなさまからの声に耳を傾け、頂戴したご意見やご要望について、経営層や従業員と共有を図り、事業活動に反映させることで、信頼を賜ることができるよう努めています。

● 関連データ

	2021年度	2022年度	2023年度
自治体へのご理解促進活動	約8,300回	約9,100回	約8,400回
ボランティア休暇取得	39件(63日)	53件(64.5日)	50件(61日)
社会貢献活動回数(出前教室含む)	836回	1,086回	1,517回
社会貢献活動額 ^{※1 ※2}	2,052百万円	1,821百万円	2,027百万円
うち寄付金額	209百万円	104百万円	171百万円

※1 2020年度実績より事業活動を通じた社会貢献活動額も一部計上

※2 2021年、2022年度実績においては社会貢献活動に係る人件費も一部計上

